

平成31年度 学校経営計画書

石川県立工業高等学校

学校長 澤田 豊

1 教育目標

- ① 工業技術者としての自覚を高め、創造力、実践力を伴う勤労意欲に満ちた職業人を育成する。
- ② 自己の行動に責任が持て、広い視野に立って正しい判断ができる社会人を育成する。
- ③ 健康でたくましい体力と忍耐力を持って、試練に耐え問題を解決できる人間を育成する。
- ④ 郷土石川の自然や歴史・文化について愛着と誇りをもち、地域と協働し、地域・社会に貢献できる人間を育成する。

2 中・長期的目標

(1) 学校の現状

- ① 国内有数の伝統と歴史を有し、県内を中心に地域産業を支える有為なる人材を輩出しており、本県工業教育の中心校である。7つの学科がそれぞれ特色ある専門教育を行い、工業人の育成と伝統工芸の継承者の育成に努めている。
- ② 明るく活発で、好奇心旺盛な生徒が多く、活力のある校風であるが、変化の激しい現代社会において、生徒が主体的に考え、豊かな思考力・判断力・表現力を持ち、課題対応力を向上することが必要不可欠となっている。
- ③ 中学生の普通科志向、上級学校への進学志向が高まる中で、本校への志願者確保が課題となっている。技術立国日本の産業を支える上で、工業教育の魅力やものづくりの楽しさ・大切さを地域社会や若年層へ積極的にアピールすることが求められている。
- ④ 本校の使命を果たすうえで、地元企業との連携をさらに密にするとともに、地域のニーズを的確に捉えた進路指導が大切である。また、大学等の上級学校への進学においても、将来は地元石川の産業を支えるといった職業意識、目的意識の高い生徒の育成が望まれる。

(2) 生徒に関する中・長期的目標

- ① 社会の変化や産業の動向に対応し、将来の工業技術者としての技術・技能や実践力はもちろん、未知なる課題への対応力を身につける。
- ② 将来の職業人としての職業観・就業観を育成し、規則正しい生活習慣の定着や規範意識の高揚、コミュニケーション能力を高める。
- ③ 体力、精神力、チームとして活動する力を高め、何事にも積極的に挑もうとするチャレンジ精神を育成する。
- ④ 学力向上を図るとともに、社会人・職業人として備えるべき人間性を磨き、人間力を高める。

(3) 教職員、学校組織等の望ましい在り方

- ① 学科、学年、部活動等それぞれの連携を強化し、「タテ、ヨコ、ナナメ」さらには「スキマ」を埋める全校一丸となった指導体制を構築する。
- ② 本校の使命・ビジョンを明確化・共有化し、地域のニーズに応えられる学校づくりを目指し、成果を生徒の姿で示す。
- ③ アクティブラーニングの手法を積極的に活用し、生徒の主体的な学習活動をファシリテートすることで、生徒の授業への参加意識を高める。
- ④ 本校の特色、工業高校の魅力地域に発信し、地域や企業との連携、上級学校との連携を積極的に行い、ものづくり教育の活性化、進路指導の充実並びに安定した入学者の確保に努める。
- ⑤ 教職員が協働して学校教育の全体について改善・充実を図ることをとおして、心身ともに健康で明るくいいききと活力に満ちた職場環境の構築を目指す。

3 今年度の重点目標

- ① 生徒の主体的・協働的学習を推進し、アクティブラーニングの視点から、思考力や表現力、コミュニケーション能力の育成に努めるとともに、学習の成果を的確に評価することに努める。(学びのスタンダード、学校研究の継続推進)
- ② 将来の職業人としての意識の高い生徒の育成のため、規範意識やマナーの向上を目指す。(人間力スタンダード、校訓の活用)
- ③ 専門的技能の習得をはじめ、資格取得や検定、各種コンテストに意欲的に取り組み確かな進路実現を図る。(技能スタンダードの推進)
- ④ 部活動や学校行事等の課外活動をとおして、粘り強くたくましい体力と精神力及び多様な人々と協働していくことのできる社会性を培う。
- ⑤ 教職員が相互に業務を点検・改善し、教育の質を落とすことのない、組織的で効率的な業務の在り方を探る。